

皆川末子 布絵の世界展

みなかわ

すえこ

布絵は日本画。懐かしくて新しい。貴方もきつと感動します。

◆ 入場無料 ◆



明日からの空想 190×150cm・2006年「メッセージシリーズ」

2008年 1月3日|木|～31日|木|

10:00～19:00 ※最終日は17:00にて閉場させていただきます。

アクティブG 3階 TAKUMI工房 ワールドデザインギャラリー

今、数々のメディアで注目されている、皆川末子さんの布絵。

総作品数170点を超える作品の中から、本展では「最新作」をはじめ、作家自らが選んだ代表的な作品を厳選して展示します。

日本の古い貴重な布や着物を使って表現したオリジナル・アートの世界をご堪能ください。

● 今回の作品展を記念して、オリジナルポストカード(8種/1枚=150円(税別))を販売いたします。



皆川末子 布絵の世界展

布絵は日本画。懐かしくて新しい。貴方もきっと感動します。



とんぼの中
176×133cm・2005年
[日本舞踊 シリーズ]



ドルクの春
171×128cm 2004年
[メッセージ シリーズ]



新しいコンパスと地図を手にして
176×146cm・2005年
[メッセージ シリーズ]



ラヴェル ボレロ
195×146cm・2000年
[クラシック シリーズ]



心は若手の芸術家、作品は伝統文化の継承と保護の推進、そして活動は地域間の交流促進。それが、今の私の想いです。

皆川末子 Minakawa Sueko

1947年茨城県水戸市生まれ。

幼少の頃より絵心を持ち、高校時代には東京へ通い、デザインの勉強をする。結婚後、布で絵を描くことを発想し、日本の古布で日本画を描く独自の世界「布絵」の制作活動を始め、今や作品総数は170点を超える。

国内だけでなく、オランダやハンガリーといった海外でも作品展を開催し、大きな反響を呼ぶ。「布絵」による国際交流の輪の広がりに貢献している。

現在は個展の間隔・制作活動のほか、「布絵」の技術を後生まで残していこうと布絵の指導や古布の保存活動にも力を入れている。

◇布絵とは

日本画の下絵を描き、顔料(絵の具)の代わりに日本の古い布(着物・帯・手拭いなど)を使用して情景や人物などを表現していくもので、茨城県・水戸市在住の作家皆川末子さん考案による手法です。パッチワークや手芸とは違うその独自の世界は、NHKやキルト雑誌でも取り上げられ、個展でも高い評価を得ています。



◇皆川末子公式ホームページ「布絵の世界」 <http://www.nunoe.com/>

布絵作家・皆川末子さんが来場し、会場で布絵のことや作品の解説をいたします。
作家在廊日 / 1月5日|土| 14:00-18:00・6日|日| 10:00-15:00
※日時都合により変更する場合がございます。ご了承ください。



主催 財団法人 岐阜県産業デザインセンター
企画 HEADROOM / Project NUNO-E
お問い合わせ先: TAKUMI 工房事業部
〒500-8856 岐阜市橋本町1-10-1
tel.058-269-3188
この企画は岐阜県の助成を受けています。(2008.1)

